

エスペラント ★

Verda Placo 2014・Somero

みどりのひろば 2014年 夏

N-ro 27(大会特集号)

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



La Kastelo Himeji en la tago de la 62a Kongreso de
Esperantistoj en Kansajo (fotis S-ro Tukamoto)

1) Saluto de s-ino Minabe Hitomi ĉe la malfermo de la kongreso

Bonvenon al nia urbo Himeji!

Mi estas membro de Harima Esperanto-Societo.

Ni lernas Esperanton en Himeji kaj Kakogawa en ĉiu monato.

Ni estas tre ĝoja vidi vin kaj elkore dankas vin pro viaj helpoj en la kongreso. (Minabe Hitomi)

2) Saluto de s-ro Mine Yositaka ĉe la malfermo de la bankedo

Bonan vesperon!

Mi dankas vin pro via partopreno al la kongreso kaj la bankedo. La nombro de la partoprenantoj multe superas nian antaŭkalkulon. Ĉu ni danku tion ankaŭ al NHK pro ĝia dramo de Kansuke? Permesu min, ke mi tamen devas forlasi vin post la saluto, ĉar pro malsano mi ne povas resti kaj manĝi kaj trinki kun vi, bedaŭrinde. Bonvolu frandu gustojn de Himeji kaj ĝuu la vesperon apud la kastelo, mi petas. Koran dankon!



Fininte la kongreson 大会を終わって

峰芳隆

大会については、Kongresa Raporto に詳しく記録しているが、そこには書けなかったことを中心にメモしておきたい。

★ Pri la kongresejo 会場

まず会場が確保する必要があったが、姫路国際交流センターに紹介してもらった姫路観光コンベンションビューローを通じて先行予約ができた。その後、同ビューローからは、県外参加者の宿泊に応じた大会補助金交付などさまざまな支援が得られた。

★ Malferme al la publiko 公開番組

柳田国男に関する講演を依頼した橘教授は、偶然知り合いになった方であった。また、関西に来られたことがないアレクサンドラ綿貫さんの招待は中道民広さんを通じて実現した。さらに、2011年の神戸大会で好評であった野田淳子さんにも依頼することができた。市民に無料で公開するというので姫路市文化国際交流財団の文化事業助成に応募し、費用の一部として助成金5万円を受けることができた。大会参加者以外の入場者で記名があったのは49人。しかし、記名しない入場者もあったようで、おそらく60人ぐらいだったのではないだろうか。広報チラシ制作の森田名美子さんは、中村雅子さんの知り合い。両面カラー印刷は、通販印刷の「プリントバック」で、意外に安かった。まず4500枚。その後1000枚追加。中村さんや稲田さんが中心になって配布した。このチラシの配布を通じて、エスプレントのことを知ってもらうこともできたのではないだろうか。

★ Pri diversaj programeroj 番組あれこれ

参加者に満足してもらいたいと、多様な番組の準備に心がけた。また、初めて参加する人のためにと、初心者番組も加えた。幸い皆さんの協力で、多彩なプログラムを用意することができた。参加申込み、通信講座の藤巻謙一さん（沼津）と『日本エスプレント運動人名事典』の後藤齊さん（仙台）の名前があったので、講演を依頼した。また、広島 of 忍岡妙子さんと香川 of アティリオ・ロハスさんの初心者番組講師など、関西では接する機会が無い人にも依頼した。しかし、一方では、関西の皆さんの出番が少なかったのではないかという反省もある。

★ Pri Malferma Soleno 開会式

式典をできるだけ簡素に、かつ内容のあるものにしたと考えた。「市長の祝辞を」という声もあったが、参加者を中心にと考えて、それは断念した。それぞれの挨拶も 2~3 分以内にと少し厳しい依頼をした。そして、はるばる福島から参加の矢崎さんや若い市河さんなどにも挨拶してもらった。また、KLEG の加盟 17 グループの挨拶という企画には、全ロンドの参加があり、多くのロンドは挨拶者として比較的新しいメンバーを選んでくれた。さらに、La Espero は従来はテープ伴奏であったが、中村さんにピアノの生演奏を依頼した。

★ Kiel okazigi en la halo あいめっせホールの進行管理

ホールの進行管理が課題であったが、枚方の堀田さんと那須さんに引き受けてもらうことができ、佐野さんも担当してくれた。これは 2 日間、ほとんど休憩なしのしんどい仕事であったと思う。また、ホール担当の国際ステージサービスから、照明と音響の技術者の追加配置が必要として、約 10 万円の見積りがあった。想定していなかったのであわてたが、何とか支払える目途がたち解決。さらに、番組毎のステージ指示書も必要とのことで急いで作成した。これらは、大会直前、未経験のことであった。

★ Dank' al Oomotanoj 大本の人たちのおかげ

姫路居住者が少ない中で大会準備を進めるためには、大本の人たちの協力が欠かせられないと考えた。そこで、前年に退会していた吉田（旧姓・黒田）信子さんをお願いして、復帰してもらった。その吉田さんを通じて、多くの方に参加してもらい、とくに大会当日の会場設定や後片付けなど、また Ekskurso のガイドなども依頼することができた。さらに「子どもの交流集会」にも協力してもらった。

★ Dank' al KLEG-oficejo kaj KES 事務所と神戸エス会のおかげ

大会の参加受付業務を KLEG 事務所の中道さんをお願いしたが、これは助かった。また、舞台看板は、神戸エス会がプリントしたものを多田さんが貼り合せて作ったが、なかなかの見映えであった。

この他、たくさんの皆さんの積極的な参加と支援、そして創意工夫により、多くの参加者から日本大会並みの内容であるという評価もいただいた。私も心配していた身体状態を克服して、無事に責任を果たすことができた。Multajn kaj korajn dankojn!

公開番組の記録

1) 入門講座

受講者：一般 5 人（事前申し込み者の内 2 人欠席）、大会参加者 8 人、計 13 人。（はりまの会員：三鍋、山岸、中川、中村）

<一般受講者：何で知ったか>

労音コンサートのチラシ：2 人、中村雅子さんから：2 人、好古園でチラシ：1 人。

2) 講演とコンサート

一般参加の記名者 49 人、アンケート回答者 15 人

①何で知ったか（チラシ 3、新聞 4、友人 4、ネット 2）

②橋弘文「柳田国男とエスぺラントの人びと」について

・エスぺラントと民俗学には、つながりがあったですね。関心が深まりました。

・初めて知ることが多く、すばらしい発見でした。

③野田淳子「コンサート」について

・反戦と平和、そのような願いを改めて想起させる雰囲気、野田さんは醸し出してくれました。

・野田さんの着物姿も良かった。エスぺラントの場に伝統衣装で臨まれるのは、エスぺランティストの正しい姿であると感じました。

④アレクサンドラ綿貫「現代ポーランドに与えた日本文化の影響」について

・エスぺラントによるポーランドにおける日本文化の状況の説明は、言語の美しい響きと相まって大変興味深いものでした。

⑤全体を通しての感想

・知らないことがたくさんあり、新鮮でした。

・周到な準備がなされていたようで、このようなすばらしい行事に参加させていただき感謝しています。





盛況だった Ekskurso 前列左から 3 人目が案内をしていただいた塩谷誠さんです。Fotis S-ro KIMOTO

第 6 2 回関西エスペラント大会を終えて

稲田正昭

大会は色々反省点や失敗点もあったと思いますが、大いに成功したのではないのでしょうか。

さて、今回の大会を語る前に少し私の事について述べてみます。私がエスペラント語を知ったのは中学生の頃、確か教科書でザメンホフがエスペラント語を創ったと学び、その思想に興味を持ち図書館で心を躍らせエスペラント語について調べました。そして、高校生になってから日本エスペラント学会から「小坂エスペラント講座」を購入し発音や単語を独りで学びました。最初におぼえたのは pupo、papo や mi、vi、ni だったと思います。ただ、一人で学んでいたのも、また、必死でもなかったものでゆっくりしたものでした。社会人になり 7 年たち、峰君からエスペラントを学ばないかとの連絡を受けました。その時佐野君や吉田(旧姓・黒田)さんを知りました。その後、学習会を持ち、また新しく学ぶ人を募集して講習会を開たりしていました。その後、峰君はエスペラントへの情熱を持ち続け学習し続け、ご存知の様にエスペラント界では知名な人となっています。私は色々なことに興味を持ち、あちこち頭を突っ込み、その割

には物に成らず広く浅くの状態です。そう、エスペラントについては、あの若い時の思いだけが続いているのが今の私です。

本題に入ります。来年は姫路で関西大会を開くことに決まったと聞いた時、わぁ大変やなぁと思いました。46年前に姫路での大会に参加して以来、一度も大会には参加していないのです。それで事前に情報を収集するため、和歌山大会に参加しました。そのことは大会準備の中で参考にはなりましたが、参加するのと実施するのでは大きな違いがあると思いました。幸い“はりま”には峰君という知識・経験・人脈が豊富な人物が居たからこそ、そして大勢の熱心な会員が居たからこそ、あれだけの大会を開くことができたと思っています。大会の準備は半年以上前から行われましたが、それぞれの役割分担もできて、私は市役所や教育委員会、各新聞社、放送局などのマスコミ関係に後援依頼に歩き廻りました。また、市民対象の公開番組のチラシ配布では市立の小・中・高等学校や各公民館に配布すべく姫路市の担当局の許可を得て連絡便で配布しました。この方法は効果面で疑問も有りましたが、日程的に困難でしたのでやむを得なかったと思っています。あれやこれや試行錯誤しながらも、大会開催日は近づいてきました。そうなる私にとっての関心事は正直なところ大会初日の大会会長の挨拶です。人前での挨拶は結婚式の仲人挨拶が5回位経験していますが、一つの組織を代表しての挨拶、それもEsperantoで。おとなしい私にできるのか、自分自身が心配でした。挨拶文を見ながらであれば心配ないのですが、でも何か抵抗感がありました。挨拶の目的が何であるかを知っていれば考えることは無かったのですが、見事詰ってしまいましたね。ごめんなさい。でも私にとっては良い経験でした。大会を終えて後援をして頂いた姫路市・各マスコミ・各団体への報告書を作成し、手渡しできる場所は全て手渡しして御礼を言ってきました。大会を終え、私の心の中に若かった時のエスペラントへの思いが少し蘇ってきました。でも少し遅いですね。最後に神戸エス会をはじめ多くの方々の大会への支援を心より感謝いたします。ありがとうございました。

関西エスペラント大会を終えて

大前 知子

思えば1年前に開催地が姫路に決まった時は、正直、漠然としていて、“枯れ木も山の賑わい”お手伝い程度の気持ちでした。寸劇出演が決まり、これは大変だと気持ちも変わり準備にも参加させて頂くうちに徐々に仲間意識ができた様に思います。大会は経験のない私でも大成功だったと思いました。と、いうのは、参加者の多さ、分科会等の賑わい、それに参加者の反応、私が何より感動したのは寸劇が終わりホールの扉から外に出た時に峰先生がソファーに座っておられ、大笑顔で第一声「良かった！！♡♡♡・・・」って、本当に嬉しかったです。大げさですが、少し恩返しが出来たかな？と。体調がお悪いのに勉強会にもお顔を出して頂き元気を下さいました。そして、先輩達のご活躍に頭が下がる思いをしました。それぞれの持ち場で一生懸命にやった結果が出たのだと思います。本当にいい経験をさせて頂き有難うございました。これからは、もっと気合を入れて楽しくエスペラントを勉強しようかと思っています。



Skeĉo “Kio estas rabita?”を演じて

馬場祝栄

私達。姫路グループは今「CDエクスプレス エスペラント語」を教材として勉強しています。あの Skeĉo の始まりは学習会のある日、三鍋さんの「Gaja Vespero で簡単な劇を作って演じたら、楽しいね」の発言からです。こういう意見にすぐ賛成して進めていくのが、私達グループの良い所です。取りあえず、脚本作りを宿題にして、次のエスペラント実行委員会の時、集合時間の1時間前に集まって持ち寄ろうと話がまとまりました。三鍋さんは日本語で書いていましたが、とても面白かったので、私はエスペラント語にそれな

りに、訳しました。その後私達が Skeĉo をするという事に峰先生が賛成して下さい、台本をもっと、分かりやすく発音しやすく直され、テープにも吹き込んだのを皆に下さいました。

簡単な文とは言え私達にとって暗記するには苦労しました。メンバーがひとり足りなかったので、いろいろと多忙な吉田さんに入ってくださいました。彼女は Gaja なのだから、観客を笑わすように持っていかうと言う考えです。私にはちょび髭を付けたりバカボンのお父さんのイメージで、恋人役の中村さんには黒田官兵衛の兜をかぶったら、とか。自分はずっと認知症になりかけのおばあさんで、とかです。それなりに皆いろいろ工夫して演じたのがあの舞台でした。もしセリフが間違ったり、とちったりしたらイエローカードを出そうと用意しました。私は覚えていませんが何回出たのでしょうか。しかしその行為が私達出演者を落ち着かせ余裕ができたのではと思います。私は初めてつけるピンマイクをとばしてしまいましたが、不思議と落ち着いていました。皆様、笑って楽しんでいただけただでしょうか。Gaja Vespero になったのでしょうか。

Ni mem amuziĝis skeĉon.

“関西エスペラント大会”をふり返って。

三鍋ひとみ

エスペラント語を学び始めて1年半、まだ何もしゃべれない私がエスペラント語で寸劇をするなんて、夢にも思いませんでした(かなり無謀?)事の始まりは、月1回の勉強会の最中でした。

ニューエクスプレスの教科書を、感情を込めて読み合わせをしているうちに寸劇しようという話になり、好奇心旺盛な姫路のメンバーは、すぐその気になりました。でも初めは、大会までまだまだ月日があったので、何とかなるだろ



うと簡単に考えていましたが、さすがに、大会まであと2か月位にせまると、不安でセリフも思うように頭に入りません。またこの頃、 Rond代表挨拶もしてほしいと言われ、私の頭はパニック状態！

毎日、寝てもさめても、まるで呪文をとこなえるように、寸劇のセリフと Rond挨拶を覚えるのに必死でした。大会当日になると、もう開き直りと度胸だけです。

遠くから来られたお客様が多いと聞いていたので、失敗してもいいから心から Bonvenon, そして“ありがとう”を言おうと決めていました。

何とか無事に大役が済み、寸劇もイエローカードばかりでしたが、皆様に楽しんでいただけたようで、本当にホッとしています。

この年になって、久々に挑戦する楽しさと緊張感を味わい、充実した毎日が送れた事に感謝します。あと心に残ったのは、野田淳子さんのミニコンサートと、新聞紙で作る

“ペーパーさん”の冒険物語です。他参加できなかった分科会もありますが、2日間の大会をとおして感じた事、それは、はりまエスペラント会にはたくさんの

すばらしい人材が揃っていて、チームワークを組むと、とても大きな力になると思った

事です。エスペラント語の勉強は入会当初に比べて、なかなかエンジンのかからない私ですが、今回の経験を糧に、楽しみながら続けていきたいと思います。

来年は、京都で関西エスペラント大会が開催されますが、楽しみにしています。

★Oni parolas pri la kongreso ★

参加者の感想の一部 ブログとツイッターから収集した。

Reza Pahlevi (インドネシア)

Mi tre ĝojas partopreni al via kongreso en Himeji. Mi havas bonegajn memorojn pri Japanio kaj japanoj, pri la viaj bonkoraj, ĉarmaj homoj kaj tiel plu. Mi ankaŭ akiras la bonajn spertojn el Japanio pri la kongreso, grupo, ktp. Do mi povas diri al amikoj en mia urbo por kune labori en esperanto-movado pli bone.

Pardonu min pro malfrua respondo. Mi havis ekzamenon en la universitato.

後藤美和（京都：開会式の司会）

Estis vere granda laboro zorgi la kongreson bonorde, mi imagas.

Ĉe Juna（大阪：Gaja Vespero と閉会式の司会、）

Mi ĝojis ĉeesti kaj kunlabori por la kongreso!

藤巻謙一（沼津：「エスペラント独習のすすめ」）

Koran dankon por la bona aranĝo de la 62a Kongreso de Esperantistoj en Kansajo. Ne nur enhave, sed ankaŭ skale la kongreso estis okulfrapa.

木谷奉子（鳴門：「子どもの交流集会」）

関西大会でのこども集会開催、初めてのことでしたが、いろいろ手配から気配りいただいてありがとうございました。鳴門からの参加した子供たちは、「楽しく参加できた。また、このような番組があれば参加したい」という感想を得ました。また、付き添いのお母さんからは「エスペラントっていいものなんですね。ぜひこどもに続けさせたい」と言われました。この先、こども集会が恒例の行事になり、エスペラントを知る子供達が増えていってくれることが、わたしの夢です。

野田淳子（京都：「コンサート」）

2日間本当にお世話になりました。皆さんのお力で大会を大成功されて、感動的な閉会式でした。リハーサルもしていただき、音響良かったとみなさんおっしゃってました。学習も出来、楽しいバンケードでも皆さんとお話出来ました。

Aleksandra Watanuki（東京）

Ni elkore dankas, ke vi invitis nin al ĉi-foja Kansaja Kongreso. Kvankam dum tiel mallonga tempo de du tagoj, ni vere ĝuis ties riĉajn programerojn. Ni surloke impresiĝis pri la sindediĉaj klopodoj de la LKK-anoj.

Persone emociadis min serio da revidoj kun tiom da malnovaj konatoj post dekoj da jaroj.

綿貫健一郎（東京）

Post la Kongreso ni ĝuis viziton al la Kastelo kaj ties ĉirkaŭo. Ni pasigis tre agrablan postkongresan ekskurseton.

森川和徳（京都：入門講座講師）

13人も教えたことは初めてで、良い経験をさせていただきました。

浅田和子（宝塚：「みんなで歌おう」）

おかげさまで、皆さん楽しんで歌ってくださったようで、当初、峰さんが期待されたものに近かったのではないかと考えています。

三浦伸夫（神戸）

大会は大盛況でした。エスペラント図書館の方ともお話しでき、頼もしく思いました。

西尾務（彦根）

Mi sentis, ke via plena prizorgo bone regis programerojn kaj tion mi povis kapti eĉ per du tri partoj, kiujn mi ĝuis. La prelego pri Yanagita Kunio kaj kantoj de s-ino Noda Junko.

江川治邦（和歌山）

すばらしい大会を実現していただきました。若い人たちや海外からの出席者などへの気遣いを、見ていて強く感じました。

望月正弘（静岡）

内容の濃い大会で、ほんとに参加してよかったと思っています。司会をした Ĉe Juna さんは、数年前の八ヶ岳での Nur-esperanta Kunvivado では「初めて三か月」と言っていたのですが、パンチの

効いた歌や、よどみない司会ぶりにおどろきました。

- ・官兵衛を気取るひとらの街群れて姫路隧道白鷺城へ
- ・草葉萌ゆ小島の群れるインドネシア エス語の若きが演壇にいる
(6月1日, 関西エスペラント大会, 姫路にて) (望月正弘個人誌『草』6月号)

Akira (<http://blog.goo.ne.jp/esperakira>)

...開会式に続いて Gaja Vespero。寸劇は、出演者が間違える度に出されるイエローカード（少し多すぎる気もしたが）のアイデアがおもしろかった。新作狂言「ザメンホフ」は達者な演技で楽しませてくれた。女性コーラスには男性も一人参加していた。美しいハーモニー。言霊の武道「和良久」は日本の古典武道の演技。(…)松田洋子さんの朗読はすばらしい。ぜひ CD を作ってほしいと思うのだが…。最後は恒例、田平さんのオークション。臨機応変・達者な話術には感心させられる。... (6月13日)

日本青年エスペラント連絡会 (https://twitter.com/JEJ_)

姫路では石を投げたらエスペラント話者に当たる2日間。普通に道を歩いただけですでに5人のエスペランティストに会いました。
(5月31日)

「上條恒彦&野田淳子」コンサート

中川幸子

3月16日(日) 久し振りに孫守りから解放され、市民会館の「上條恒彦&野田淳子コンサート」に行って来ました。幕開けは、お二人で会場の皆さんを巻き込んでの「バラはあこがれの歌」で始まりました。一番手は野田淳子さん。(何年か前の加古川の講演会で、はじめて野田淳子さんを知りました。)澄んだ歌声の「千の風になって」に、うっとり聞き惚れました。次の「アリラン」は、一番はハングル語・二番はエスペラント語・三番は日本語と、才能豊かな歌声。「金子みすずさんの詩」は、会場の皆さんと一緒に手話を交えての歌、もちろん関西エスペラント大会の情報もそのつど言って下さいました。「時を越えて」は、26歳で亡くなった青年エスペランティストの歌の中の一節・・・『真実を見る目を 自

由を語る声を 抱き合う両手を うばわれはしない』の部分で、野田さんの指名で会場の数人がマイクで歌い、その中でお一人の美声の男性の歌声に皆さん大拍手でした。後で中村さんから「峰先生です」と教えてもらいビックリしました。

二番手の上條恒彦さんは、「ど～こかで だ～れかが」と、74歳とは思われない迫力のある歌声で登場、さすがミュージカルで鍛えた歌い手さんです。「さとうきび畑」「襟裳岬」と続き「生きているということとは」の歌では、紅白をねらっている？ というようなお話も交えながら・・・

「PEACE IN HARMONY」は、お二人と会場の皆さんが一緒の大合唱。～ピース イン ハーモニー ひびけこの大空へ 愛する君と～ アンコールでは、お二人で「出発の歌」を歌って下さいました。会場の皆さんと一緒に大声で歌ってストレスも発散でき、なにより、すばらしい歌を聞けて充実した一日でした。野田淳子さんの前向きな姿勢に刺激を受けました。6月のご出席を心待ちしています。

*** 本原稿は3月に投稿されたものです。あしからず！ ***



大会中の一こま





★中村雅子さんは、7月12日、神戸の「うはらホール」で開かれた

「歌に集うおもてなしコンサート」の第2部に出演して、ウクレレで「Senkyo's Rag」とピアノで「風の向こう」の自作2曲をいずれも弾き語りで。第1部「野田淳子 金子みすゞを歌う」の野田さんの推薦による出演で、司会者からは「野田さんとはエスペラントを通じての知り合い」と紹介された（峰）。

★ 中橋文子さん（市川町）が退会しました。中橋さんは、2012年6月、中村さんの紹介で入会し、姫路の学習会に数回参加されましたが、最近では出席されず、関西大会にも参加されませんでした。中橋さんからの退会挨拶の一部を紹介します。「... 時間的に無理があり、辞めさせて頂くことになりました... エスペラント語にしばらくでしたが触れさせて頂き、楽しいひとときを過ごさせて頂きました。色々発見があり、良い勉強になりました...」（峰）



学習例会の記録 Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

<姫路><姫路:イーグレ第4会議室>

3月27日 大前、馬場、三鍋、中村、中橋
4月24日 吉田、馬場、中村、山岸、中村
5月22日 大前、馬場、三鍋、山岸、中村
6月26日 馬場、三鍋、中村

Skeĉo の練習、エクスプレス第3課

大会関連の話題あれこれ、Skeĉo の練習

<加古川:加古川総合文化センター>学習例会は午後2時~4時

3月 休み

4月20日 塚本、多田、馬場

5月18日 塚本、多田、馬場

6月22日 塚本、多田、馬場

大会関連の話題、“Katrina malfruas”,の輪読、訳 ktp

今後の例会予定 (2014年7月~) Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (第4木曜日、午後1時半~4時、イーグレ第4会議室)

7月24日、8月28日、9月25日、10月23日

関西大会 Gaja Vespero の Skeĉo 練習、エクスプレス学習。

★加古川 (午後2時~4時、加古川文化センター第3会議室)

7月13日、8月17日、9月21日、10月19日

編集後記: 皆様の熱意と努力と頑張り、そして峰さんの企画力とリーダーシップにより、今大会は成功裏に終わりました。

はりまエスぺラント会の今後の活動が注目の的です。

これを機会にさらにいっそう精進しましょう。

★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 27 2014年7月20日

発行: はりまエスぺラント会 (671-0122 高砂市北浜北脇29-16 峰芳隆)

編集: 多田龍二 明石市西明石町5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp